

# 保証書\_マイク無しモデル

W:110mm × H:130mm

## 保証書 [EHP-C3550 Series]

エレコム株式会社

販売店

店名 住所 TEL

担当者名

保証期間  
6ヶ月

お買い上げ年月日  
年 月 日

### ■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

### ■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。

(1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。

(2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。

(3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。

(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。

(5) 弊社が定める機能以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。

(6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。

(7) 本製品を購入いただいた後の搬送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。

(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。

(9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

### ■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。

4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様の負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅記や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は送途中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。

6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。

### ■免責事項

7. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。

8. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

### ■有効範囲

9. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

10. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

### 商品に関するお問い合わせは

エレコム総合インフォメーションセンター  
TEL.0570-084-465  
FAX.0570-050-012

受付時間 / 9:00~19:00 **年中無休**

### ⚠ 注意

取扱い上のご注意



禁止

■接続されたボークプル機器の音量を上げすぎないようにご注意ください。

■耳を刺さるような大きな音量で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ヘッドホンが口に合わないと感じた時は、早めの使用を中止し、医師にご相談してください。

■イヤークリップがはずれないよう、レシーバー部にしっかりと取り付けてください。

■万一、イヤークリップが外れて耳に残った時は、無理に取り出さず医師の診察を受けて下さい。

■ご使用の際は、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。

■強い電撃をあてないでください。

■故障した時は使用しないでください。

■暖房機器の近く、高温やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、水のかかる場所には、置かないでください。故障の原因となります。

■ヘッドホンのプラグを抜く時は、コードを引っ張らないで必ずプラグを持って抜いてください。

■本製品を分解、改造する事は絶対におやめください。

### お手入れ

お手入れの方法



禁止

■本製品(ヘッドホン/イヤークリップ)は、食べ物ではありません。お口に入れないようにしてください。

■誤ってお子様などが飲み込み、窒息に陥る恐れがあります。本製品を子供の手の届く範囲に保管しないでください。

■自転車、オートバイ、自動車の運転中には、ヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。

■歩行中にご使用になる時は、周囲の環境に十分注意してください。交通事故の原因となります。

■路切、ホーム、自転車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険を伴う場所では使用しないでください。